ecoジョーズ

ガス給湯器

保証書付

浴室外設置

パックイン

外壁貫通設置形

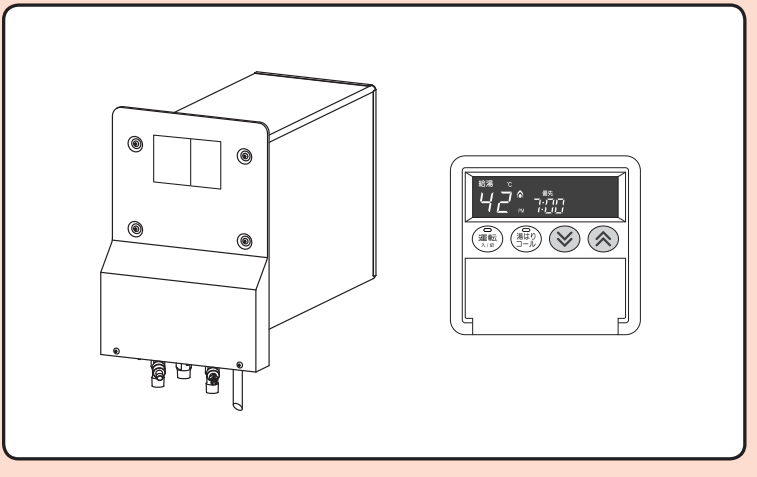
133-K430型

133-K432型

型式名　WFK−S1600

WFK−S1600−C

取扱説明書



ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この説明書の裏表紙と４１ページが保証書になっています。保証書に記載されている保証期間、保証内容などをよくご確認のうえ、大切に保管してください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへお問い合わせください。

大阪ガス

734T1096FF

もくじ

はじめに
特　長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・2
各部の名まえとはたらき・・・・・・・・・・・11

使用方法
初めてお使いいただくときは・・・・・・・・・18
時刻を合わせる・・・・・・・・・・・・・・・19
お湯を使う（台所リモコンでの操作）・・・・20
お湯を使う（浴室リモコンでの操作）・・・・22
湯はりコール運転（湯はり量をブザーで確認）・・23
表示画面のモードを切替える・・・・・・・・25
エコ運転モードを設定する・・・・・・・・・26

このようなときは
凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）・・・29
長期間お湯を使用しないとき・・・・・・・・30

必要なときに
点検・お手入れ・・・・・・・・・・・・・・・31
「あんしん点検」のおすすめ・・・・・・・・・33

故障かな？
修理を依頼される前に・・・・・・・・・・・34
エラー表示がでたら・・・・・・・・・・・・36

その他
寸　法　図・・・・・・・・・・・・・・・・・37
仕　　様・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
アフターサービスについて・・・・・・・・・39
保　証　書・・・・・・・・・・・・・・・・巻末

はじめに　特　　長

1 お好みの給湯温度でお湯が使えます。
リモコンで設定した温度でお湯が出ます。約 37℃～ 60℃まで設定できます。

2 浴そうにおふろ場の給湯栓からお湯をはるとき、あらかじめお好みのお湯の量（湯はり量）を設定しておくと、そのお湯の量になったとき、リモコンのブザーでお知らせします。

3 エコ運転モードで省エネ、節水がはかれます。

主な記号の説明

記号	内　　容	記　載　例
▢	操作の順序を表します。	①
📖	参照していただきたいページを表します。	20
■	本製品が操作などにより、表示・動作する内容を表します。	■「運転ランプ」が点灯します。
●	操作をともなう、知っておいていただきたいことを表します。	●一度設定すれば記憶します。
◆	その他の知っておいていただきたいことを表します。	◆通常は、節電モードをおすすめします。

安全上のご注意

■安全に使用していただくための重要な項目ですので、必ずお読みください。
■ここに示した事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

この取扱説明書では、お客さまや近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために説明文及び製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。
表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認してから本文をお読みください。

注意表示	意　味
⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

絵表示には次のような意味があります。

絵表示	意　味	絵表示	意　味	絵表示	意　味
	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		必ず行う事項
	感電注意		分解禁止		アース接続確認
	高温注意		火気禁止		電源プラグを抜く
			接触禁止		ぬれた手の接触禁止

⚠ 危険

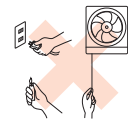
■ガス漏れに気づいたとき

① すぐに使用をやめてガス元栓を閉じる。また、メーターガス栓も閉じる。
② 窓や戸を開ける。
③ お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへ連絡する。

［ガス元栓の例］

必ず行う

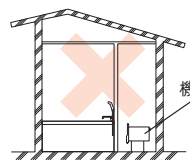
● お買い求めの販売店や大阪ガスの係員が処置するまでは絶対にマッチやライター等の使用や、漏電ブレーカーの抜き差し、近くの電気機器（換気扇など）の「入」「切」、周辺で電話を使用しないでください。
炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



火気禁止

■屋内に設置しない

● この機器は、屋外用（外壁貫通設置型）です。
絶対に屋内に設置しないでください。
不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因となり大変危険です。



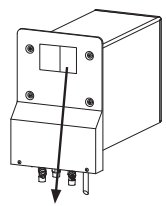
禁　止

⚠ 警告

■使用ガスの種類及び使用電源の確認をする

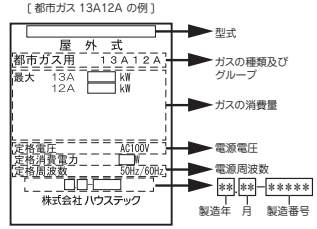
● 機器の銘板に表示してあるガス種及び電源を確かめてください。表示のガス種及び電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒や、異常点火によるやけど、機器が故障する原因となります。
● 転居されたときも、供給ガスの種類が器具銘板のガスの種類と一致していることを必ず確かめてください。
わからない場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

◆ ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスには、さらにガスグループの区分があります。



必ず行う

［都市ガス 13A12A の例］



安全上のご注意

⚠ 警 告

■機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスに依頼する
- 不備があると火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、故障の原因になります。安全な位置に正しく設置してご使用ください。

必ず行う

■増改築などで機器や排気口を囲わない
波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わない
- 不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

禁 止

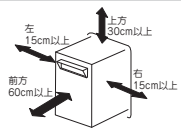
■ガス接続工事はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスに依頼する
- この機器のガス接続はねじ接続です。不備があるとガス漏れの原因になります。

必ず行う

■使用中の外出、就寝はしない
- 思わぬ事故や故障の原因になります。

禁 止

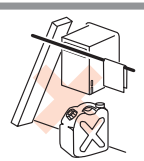
■燃えやすい物とは離す（樹木、木材、箱など）
- 木造住宅など可燃壁に取付ける場合は、専用の取付スリーブ（メーカー市販品：WF-SLV）を使用し、10mm 以上の離隔距離を確保してください。火災の原因になります。



離隔距離

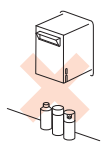
必ず行う

■機器の周囲に燃えやすいものを置かない（洗濯物、新聞紙、灯油など）
- 引火して火災の原因になります。



禁 止

■機器や排気口の周囲にスプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを置かない
- 熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発するおそれがあります。



禁 止

■機器や給排気口の周囲で引火のおそれのある物（スプレー、ガソリン、ベンジンなど）を使用しない
- 引火して火災の原因になります。

禁 止

⚠ 警 告

■シャワーなどお湯を使用するときは手で湯温を確認してから使用する
- 最初に熱いお湯が出ることがあります。また高温で使用直後、すぐに再度出湯する場合には熱いお湯が出ることがあります。やけどのおそれがありますので、安全のため水を混ぜて残り湯を流してからご使用ください。

必ず行う
高温注意

■入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴する
- お湯はり中やお湯はり後は、浴そうの上部と下部で湯温に差がある場合があります。十分にかきまぜてから手で湯温を確認してください。やけどのおそれがあります。

必ず行う
高温注意

■地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う
① 給湯栓を閉める。
② 運転スイッチを「切」にする。
③ ガス元栓、給水元栓を閉める。

［ガス元栓の例］

［給水元栓の例］

必ず行う

■点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用途中で消火してしまった場合は、ただちに使用を中止し、ガス元栓を閉める
- 「修理を依頼される前に」34、35 の項にしたがって処置をする。上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡する。

［ガス元栓の例］

必ず行う

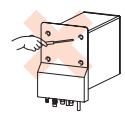
■浴そうのふたの上に乗ったり、手をついたりしない
- ふたが外れておぼれたり、やけどなど思わぬ事故のおそれがあります。

禁 止

■外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など養生シートで機器本体（排気口）を覆うことがあります。そのような場合には使用しないでください
- 不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因となります。

禁 止

■分解・修理・改造は、自分でしない
- 火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障の原因となります。



分解禁止

安全上のご注意

⚠ 警 告

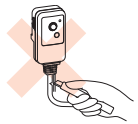
■機器本体やガス接続口・排気口に乗ったり、無理な力を加えない
- けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

禁 止

■太陽熱温水器には絶対に接続しない
- ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをするおそれがあります。

禁 止

■電源コードを破損させたり、加工したりしない
傷んだまま、束ねたままで使用しない
電源コードに物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない
- 感電やショート、火災の原因になります。



禁 止

■漏電ブレーカーは根元まで完全に差し込む
- 差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。
  傷んだ漏電ブレーカー、緩んだコンセントは使わないでください。

必ず行う

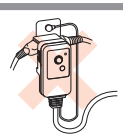
■漏電ブレーカーのほこりなどは定期的に取る
- 漏電ブレーカーにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。漏電ブレーカーを抜き、乾いた布で拭いてください。

必ず行う

■ぬれた手で漏電ブレーカーにさわらない
- 感電のおそれがあります。

ぬれた手の接触禁止

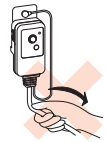
■コンセントの定格を超える使い方をしない
- たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



禁 止

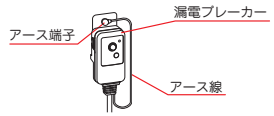
⚠ 警 告

■電源コードを引っぱって漏電ブレーカーを抜かない
- 電源コードを引っぱると破損して感電や火災の原因になります。



禁 止

■必ずアースする
- アース線をアース端子に取付けてください。
  故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



アース接続

■シャワー等お湯を使用中に「優先」を切替えない
- 使用者の意図しない熱いお湯や冷水が出て、
  やけどや思わぬ事故、けがの原因となります。

禁 止

安全上のご注意

⚠ 注 意

■給湯時は湯水混合栓のハンドル以外に手を触れない
- やけどのおそれがあります。

高温注意

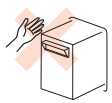
■給湯・シャワー・湯はり以外の用途には使用しない
- この機器は、給湯・シャワー・湯はり以外の用途には使用しないでください。
  思わぬ故障や事故の原因となります。

禁 止

■漏電ブレーカーを抜いて消火しない
- 燃焼中に漏電ブレーカーを抜いて消火しないでください。
  機器の故障のおそれがあります。

禁 止

■使用中、使用直後は排気口やケーシングに触れない
- 使用中および使用直後は、機器本体の排気口やケーシングは高温になっていますので絶対に手を触れないでください。
  特に、小さなお子さまがいる家庭では、注意してください。

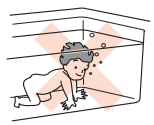


接触禁止

■給気口や排気口に指や棒を入れない
- 給気口や排気口に指や棒を入れないでください。
  けがや故障の原因となります。

禁 止

■子供を浴室内や浴そう内で遊ばせない
- 浴そうに落ちて、思わぬ事故につながる場合があります。
- おぼれたり、やけどやけがをするおそれがあります。



注 意

■子供だけで入浴させたり、お湯を使わせたりしない
また、子供を機器の周囲や直下で遊ばせない
- 思わぬ事故の原因となります。

禁 止

■ドレン排出口・オーバーフロー配管から排出される水を飲料用、調理用、飼育用などには使用しない

禁 止

■機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する
もし、お客さまで旧機器を処理する場合は、正規の処理を行う

必ず行う

お 願 い

■業務用の用途で使用しない
- この機器は一般家庭用です。業務用には使用しないでください。
  著しく機器の寿命が縮まります。

■増改築時には燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないよう設置する
- 変色・破損・腐食の原因となります。

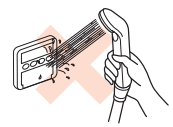
■塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のための空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する
- 塀などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。
  また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。
  （機器の点検・修理のための空間については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへお問い合わせください。）

■設置場所によっては、近隣の家と騒音によるトラブルが生じることがありますので、十分配慮して設置する

■使用時の点火、使用後の消火を確認する
- 機器使用時の点火（リモコンの表示部に 🔥 が点灯）、使用後の消火（リモコンの表示部の 🔥 が消灯）を確認してください。

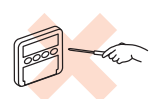
■この機器の付属品・純正部品以外は使用しない
- 機器の異常の原因になることがあります。

■リモコン清掃時に水をかけない
- 浴室リモコンは防水タイプ（台所リモコンは防水ではありません）になっていますが、入浴中や、お掃除などで故意に水や洗剤をかけないでください。故障の原因となります。
  お掃除については「点検・お手入れ」31 にしたがって行ってください。



禁 止

■リモコンを分解しない
- 思わぬ事故や故障の原因となります。



分解禁止

■機器や配管内に長期間たまった水は飲用や調理に使用しない
- 朝一番などのように長時間たまっていた水は、雑用水としてご使用ください。

■井戸水、地下水、温泉水で使用しない。また、人工炭酸泉装置を使用しない
- 水質によっては本体内の配管内部に異物が付着したり、腐食による水漏れの原因になります。
  また、人工炭酸泉装置は、高濃度の炭酸ガスを湯に溶かしこむため弱酸性となります。そのため機器内の配管・浴そう内のふろアダプタ等が変色・腐食する場合があります。
  これらの場合は保証期間内でも修理は有料となります。

安全上のご注意

お 願 い

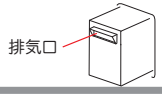
■断水時には運転を停止し、給湯栓を閉める
- 給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。
- 断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管内にとどまることがあります。
- 断水復帰後は、蛇口から十分水を流してからご使用ください。
- 断水復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理に使用しない。

■雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を中止して
漏電ブレーカーをコンセントから抜く
- 故障の原因になります。
雷がやんだ後は、漏電ブレーカーをコンセントに差し込んでください。

電源プラグを抜く

■凍結による破損を防止する
- 機器内部の凍結予防は、「凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）」29 にしたがって予防処置をしてください。凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

■積雪で排気口がふさがれているときは使用しない
- 不完全燃焼の原因になります。



■停電のときのご注意
- この機器の作動には電気が必要なため停電中は使用できません。
- 停電中は全ての動作を停止します。この場合は蛇口からのお湯は水になりますので、停電復帰まで給湯栓を閉めてください。
- 停電復帰後も自動的に運転されませんので、「使用方法」18 ～ 28 にしたがって操作してください。
- 停電復帰後は、設定していた温度、湯量などが工場出荷時の設定になります。

■運転スイッチ「切」の状態でお湯側から水を出さない
- 機器内通水部分の結露により、故障の原因になることがあります。
（シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。）

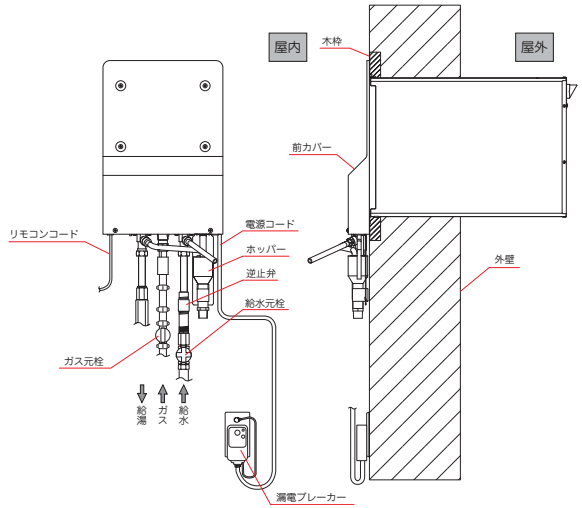
※水を流して凍結予防をする場合は、この限りではありません。

■運転中（機器燃焼時）のご注意
- 機器を使用中は、排気ガスが室内に流入しないよう浴室の窓や機器が設置されている近くの窓を閉めて使用してください。

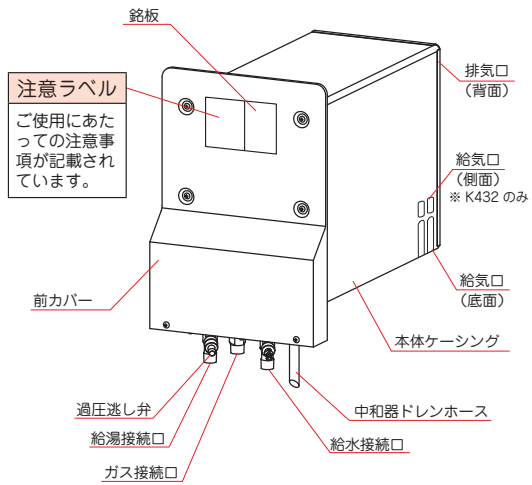
■長期間使用しない場合
- 長期間使用しない場合は、凍結及び万一のガス漏れを防止するため「長期間お湯を使用しないとき」30 にしたがって処置をしてください。

各部の名まえとはたらき

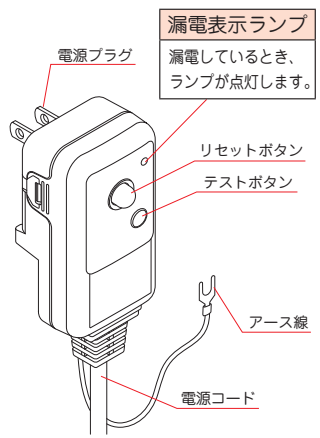
■標準設置例



■本体



■漏電ブレーカー

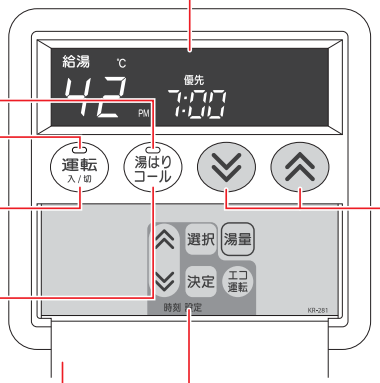


各部の名まえとはたらき

【台所リモコン】(138-K032)＜別売部品＞

※フタを開けた状態

操作部

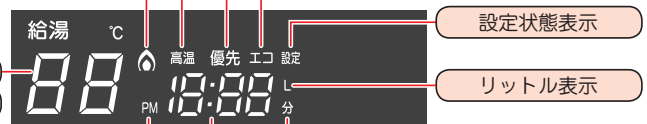


- **表示部**
  工場出荷時、表示モードは「節電」になっています。
  操作後、設定時間経過したら表示部は消えます。
  常時点灯したいとき [25]
- **湯はりコールランプ**
- **運転ランプ**
- **運転スイッチ**
  運転の「入」・「切」をします。
  (優先の切替)
- **湯はりコールスイッチ**
  設定した湯はり湯量をブザーでお知らせします。 [23]
- **給湯温度設定スイッチ**
  給湯温度を設定します。
  [37～50℃(1℃刻み)、60℃] [20]
  湯はりコール温度を設定します。
  [37～48℃(1℃刻み)] [23]

リモコンフタ　補助操作部

表示部

※下記の表示は説明のため全て表示したもので、実際の運転状態とは異なります。
※台所リモコンのみをお使いの場合、優先表示は点灯しません。

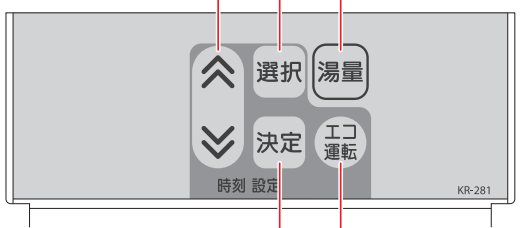


- 高温注意表示
- 燃焼表示
- 給湯設定温度
- 湯はりコール温度
- PM表示
- 時刻・湯はりコール湯量・エラー表示
- 優先表示
- エコ運転表示
- 設定状態表示
- リットル表示
- 分表示

お知らせ

- スイッチを押すと、操作音(ピッ)がしてランプの表示が切替わりますが、手早いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけないことがあります。
  しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切替わることを確認してください。
- リモコンフタは開けたままにせず、閉じた状態でご使用ください。

補助操作部



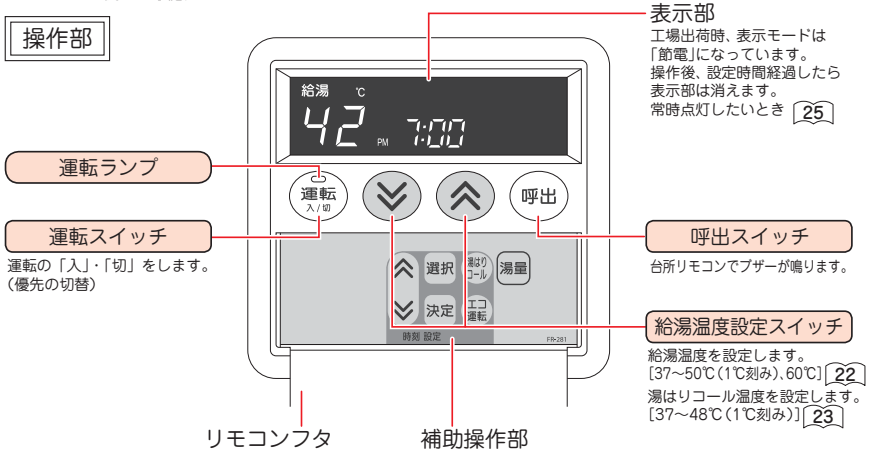
- **時刻設定スイッチ**
  ・現在時刻を設定します。
  ・表示画面のモード(節電 / 常時点灯)を切替えます。
- **選択スイッチ**
  ・現在時刻 [19] の設定モードに切替えます。
  ・エコ運転の表示内容を切替えます。[26]～[28]
- **湯量スイッチ** [23]
  湯はりコールの湯量を設定します。
  [80～240L(20L刻み)]
- **エコ運転スイッチ**
  エコ運転を設定します。[26]～[28]
- **決定スイッチ**
  ・現在時刻 [19] を確定します。
  ・エコ運転の設定を確定します。[27]

各部の名まえとはたらき

【浴室リモコン】(138-K033)＜別売部品＞

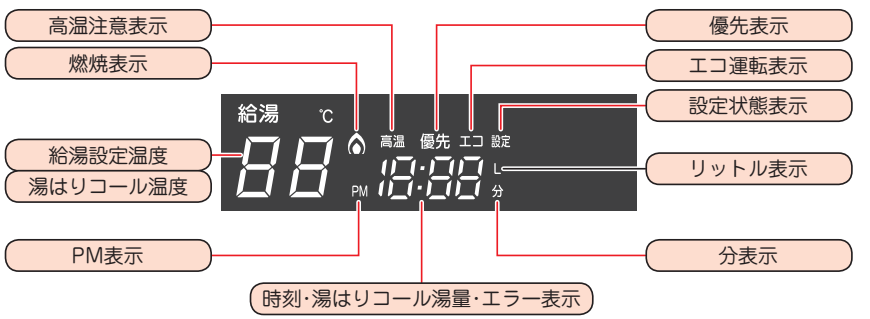
※フタを開けた状態

操作部



表示部

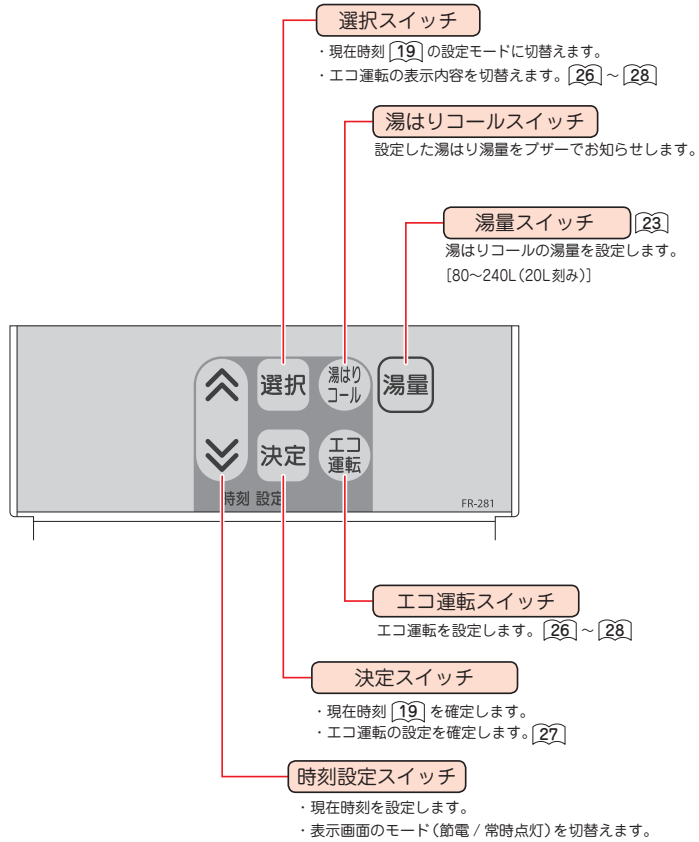
※下記の表示は説明のため全て表示したもので、実際の運転状態とは異なります。



お知らせ

- スイッチを押すと、操作音（ピッ）がしてランプの表示が切替わりますが、手早いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけないことがあります。しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切替わることを確認してください。
- リモコンフタは開けたままにせず、閉じた状態でご使用ください。

補助操作部

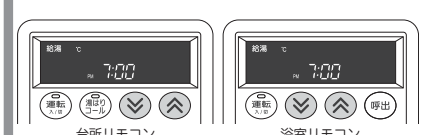


各部の名まえとはたらき

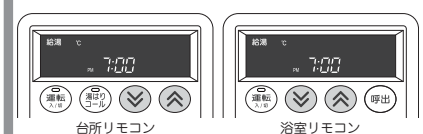
浴室リモコンと合わせてお使いのときは

●台所や浴室など機器からお湯を供給するところには、同じ温度のお湯が出ます。
そのため、浴室リモコンを接続した場合、給湯温度は 優先 が表示されているリモコンでしか変更できません。(優先権)
使いたいリモコンを「優先」にする場合は次の操作をしてください。
(「運転」スイッチを入れたほうのリモコンが「優先」となります。)

台所リモコンを「優先」にする場合

運転ランプが消灯しているとき	運転ランプが点灯し、浴室リモコンに 優先 が点灯しているとき
	
1 台所リモコンの 運転 入/切 を押す。 ■運転ランプが点灯します。 ■台所リモコンに 優先 が点灯します。	1 台所リモコンの 運転 入/切 を押す。 ■運転ランプが消灯します。 2 再度、台所リモコンの 運転 入/切 を押す。 ■運転ランプが点灯します。 ■台所リモコンに 優先 が点灯します。 このとき、浴室リモコンの 優先 は消灯します。

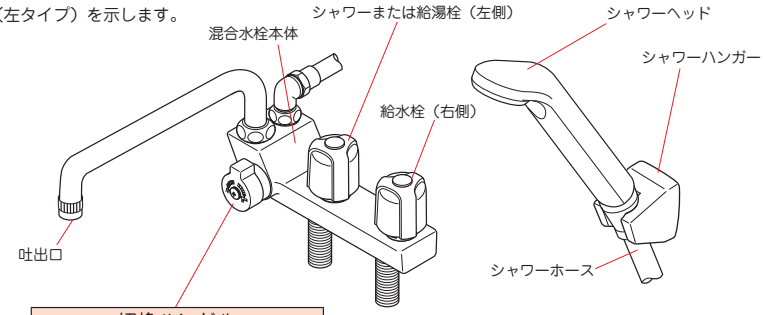
浴室リモコンを「優先」にする場合

運転ランプが消灯しているとき	運転ランプが点灯し、台所リモコンに 優先 が点灯しているとき
	
1 浴室リモコンの 運転 入/切 を押す。 ■運転ランプが点灯します。 ■浴室リモコンに 優先 が点灯します。	1 浴室リモコンの 運転 入/切 を押す。 ■浴室リモコンに 優先 が点灯します。 このとき、台所リモコンの 優先 は消灯します。

⚠警告　シャワー等お湯を使用中切替えないでください。
使用者の意図しない熱いお湯や冷水が出て、やけどや思わぬ事故、けがの原因となります。

■専用混合水栓（別売部品 シャワーセット J-157-0401,0402）

本図は、J-157-0401
（左タイプ）を示します。



切換ハンドル
右に回すと吐出口から吐水し、左に回すとシャワーから吐水します。

※取扱い及び取付けについては、専用混合水栓（シャワーセット）に同梱の取扱・設置工事説明書をお読みください。
※混合水栓の故障修理についてはお買い求めの販売店、または混合水栓の取扱説明書に記載の連絡先へご連絡ください。

お知らせ
●専用混合水栓でなく一時止水機能を持つ混合水栓をお使いの場合は、給湯・シャワーを使い終わった後に切換ハンドル（一時止水）だけで湯水を止めたままにせず、給湯・給水両栓でしっかり止めておいてください。
一時止水がきかなくなるおそれがあります。

使用方法

初めてお使いいただくときは

使用前の準備と確認

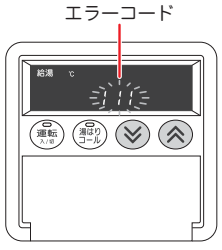
○初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1. 給水元栓をいっぱいに開ける。
2. 給湯栓、シャワー栓を開けて水が出ることを確認後、給湯栓、シャワー栓を閉める。
3. アース線をアース端子に取付ける。
4. 漏電ブレーカーを根元まで確実にコンセントに差し込む。
5. ガス元栓を全開にする。

お知らせ

●停電復帰後、電源投入（再投入）時は、時計表示が - - - 、設定していた温度 などが工場出荷時の設定になります。

エラーコード 111 が表示したら



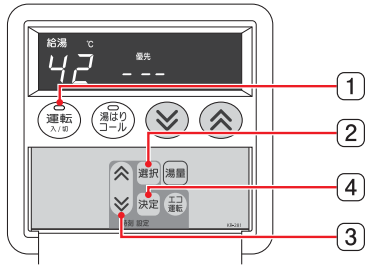
●はじめてご使用になるときなどは、ガス配管中に空気が残っていて点火しないことがあります。この場合、リモコンの運転ランプが点滅し、さらに時計表示部にエラーコード 111 が点滅し不着火をお知らせします。
このような場合は、いったん給湯栓またはシャワー栓を閉じ、運転 入/切 を押してエラーを解除し、再度 運転 入/切 を押し、給湯栓を開ける操作を2～3回繰り返してください。

使用方法

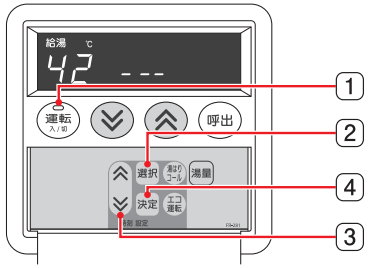
時刻を合わせる

○電源を「ON」にした後は、必ず時刻を合わせてください。

台所リモコン（138-K032）



浴室リモコン（138-K033）



1 運転 入/切 **を押す。**

■運転ランプが点灯し、表示画面が点灯します。

時刻が未設定のとき

■ - - - 点滅

時刻が表示されているとき

■ : 点滅

2 選択 **を押す。** ※時刻が表示されているときも2，3，4は同様の操作となります。

■設定 が点滅し、3:00 が点灯します。

3 ≪ ≫ **で時刻を合わせる。**

●≪ を1回押すと1分進み、≫ を1回押すと1分戻ります。
●長押しすると10分単位で変わります。

4 決定 **を押して確定する。**

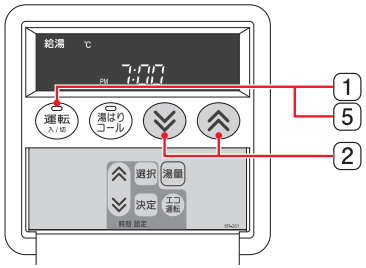
■設定 が消灯し、: が点滅します。

お知らせ

◆時刻は12時間表示になっています。「AM（午前）」「PM（午後）」が正しくあっているか確認してください。表示部には、PMのみ表示されます。

お湯を使う（温度設定）台所リモコンでの操作

○シャワーや給湯の温度をお好みの温度に設定します。
（工場出荷時の設定は 42℃です。）



1 運転 入/切 **を押す。**

■運転ランプが点灯します。
●表示部に給湯設定温度が点灯していることを確認します。
●浴室リモコンと合わせてご使用の場合は、優先 が点灯します。

2 ≪ ≪ **で温度を変更する。**

■温度は次のように設定できます。
37～50℃（1℃刻み）、60℃
●スイッチは1回押すたびに、1℃ずつ調節できますが、≪ を押し続けると 45℃までは連続で変わります。
◆一度設定すれば記憶します。（電源投入時または停電復帰後は 42℃設定になります）
■60℃設定にすると、高温設定音「ピーピッピッピッ」でお知らせし、設定中は常に 高温 が2秒間隔で点滅します。
浴室リモコンと合わせてお使いの場合、浴室リモコンからも高温設定音「ピーピッピッピッ」でお知らせします。

［40℃設定の状態］

給湯温度設定：37～50℃（1℃刻み）
60℃

3 **シャワー栓または給湯栓を開ける。**

■燃焼を開始し、🔥 が点灯します。
■しばらくしてお湯が出ます。
（お湯が出るまでの時間は、配管長さによって異なります）
◆浴室リモコンと合わせてお使いの場合、浴室リモコン側の表示部にも 🔥 が点灯します。

⚠ 警告

■やけどに注意する
◆湯温を確認してから使用してください。
■混合水栓使用時のご注意
◆高温で使用中は、水栓本体が熱くなりますので注意してください。
◆高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には、熱いお湯が出るおそれがありますので、安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。

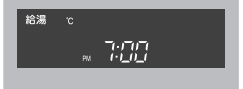
お湯を止めたいときは

4 **シャワー栓または給湯栓を閉める。**

■燃焼が止まり、🔥 が消灯します。
（再度、シャワー栓または給湯栓を開けるとお湯が出ます）

5 運転 入/切 **を押す。**

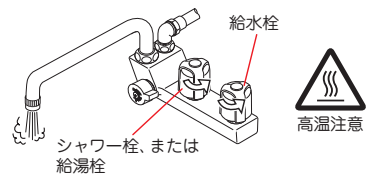
■運転ランプが消灯します。
■リモコン画面が時計表示のみになります。
●浴室リモコンと合わせてお使いの場合、浴室リモコンの 運転 入/切 を 2 回押しても運転は停止できます。
（1 回目：浴室リモコンへ優先切替、2 回目：運転停止）



シャワーの湯量が少ないとき（低水圧）

◆給水圧力が低く、給湯栓を全開にしても十分な湯量が得られない場合は、専用の混合水栓で湯と水を混合して使用することをおすすめします。

◆湯と水を混合して使用する場合、
給湯栓を全開にし、給水栓の開度を調節して適切な湯温にしてご使用ください。



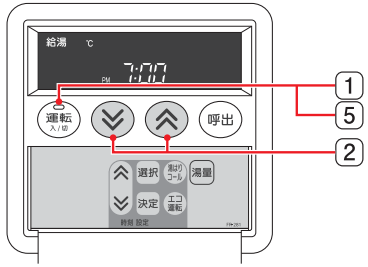
お知らせ

◆お湯の温度は季節や配管の施工状態により異なります。リモコンでの設定は目安としてお使いください。（給湯温度の表示は目安です。湯温を確認してから使用してください）
◆一度設定した温度は変更するまで記憶しています。
設定した温度が60℃の場合は、運転 入/切 を押し（切の状態）、次に 運転 入/切 を押したとき（入の状態）安全のため 42℃に変更されます。
（37 ～ 50℃設定のときは、そのまま同じ温度が表示されます）
※浴室リモコンをお使いの場合、浴室リモコンも同様の動作となります。
◆お湯の使い始めはしばらくの間、配管内の冷たい水が出ます。
お湯が出るまでの時間は、配管の長さによって異なります。
◆夏期など給水温度が 30℃近くなりますと、低温に設定しても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。
◆トイレの水を流したりし、給水圧が変化した場合、一時的に湯温が変動することがあります。
◆ 優先 が点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。
使いたいリモコンを 優先 にする場合は 16 を参照してください。
◆台所リモコンのみでご使用の場合は 優先 は点灯しません。
◆給湯又はシャワーを連続 1 時間以上使用しますと、消し忘れ防止のため燃焼を停止し、運転ランプが消灯します。
（給湯栓を閉めるまでお湯が水となって出続けますので注意してください）

使用方法

お湯を使う（温度設定）浴室リモコンでの操作

○シャワーや給湯の温度をお好みの温度に設定します。
（工場出荷時の設定は 42℃です。）



1 運転 入/切 **を押す。**

■運転ランプが点灯し、表示画面が点灯します。
●表示部に 優先 、給湯設定温度が点灯していることを確認します。

2 ≪ ≫ **で温度を変更する。**

■温度は次のように設定できます。37～50℃（1℃刻み）、60℃
●スイッチは1回押すたびに、1℃ずつ調節できますが、≫ を押し続けると45℃までは連続で変わります。
◆一度設定すれば記憶します。
（電源投入時または停電復帰後は42℃設定になります）
■60℃に設定すると 高温 が点滅し、高温設定音「ピーピッピッピッ」でお知らせします。
台所リモコンからも高温設定音「ピーピッピッピッ」でお知らせします。

［60℃設定の状態］

給湯温度設定：37～50℃（1℃刻み）
60℃

3 **シャワー栓または給湯栓を開ける。**

■燃焼を開始し、 が点灯します。
■しばらくしてお湯が出ます。
（お湯が出るまでの時間は、配管長さによって異なります）

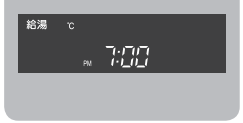
お湯を止めたいときは

4 **シャワー栓または給湯栓を閉める。**

■燃焼が止まり、 が消灯します。

5 運転 入/切 **を押す。**

■運転ランプが消灯します。
■リモコン画面が時計表示のみになります。
●台所リモコンの 運転 入/切 を押しても運転は停止できます。

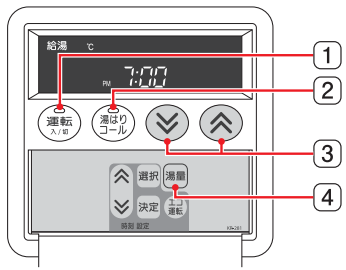


使用方法

湯はりコール（湯はり量をブザーで確認）

○設定した湯はり湯量をブザーでお知らせします。
（工場出荷時の設定は、湯はりコール温度42℃、湯量140リットルです。）

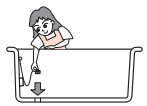
浴そうに浴室の給湯栓からお湯をはるとき
あらかじめお好みのお湯の量（湯はり量）を
設定しておくとそのお湯の量になったとき
にリモコンのブザーでお知らせします。
（自動的にお湯はとまりません。）



運転前の準備と確認

1 **排水栓を閉めます。**

湯はりをする前に
必ず排水栓を閉めます。



1 運転 入/切 **を押す。**

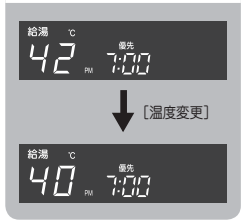
■「運転ランプ」が点灯し、給湯設定温度が点灯します。

2 湯はりコール **（浴室リモコンは** 湯はりコール **）を押す。**

■「湯はりコールランプ」が点灯します。
■給湯設定温度は湯はりコール温度に変わります。

3 ≪ ≫ **で湯はりコール温度を変更する。**

■温度は次のように設定できます。
37～48℃（1℃刻み）
●スイッチは1回押すたびに1℃ずつ調節できますが、≫ を押し続けると45℃までは連続で変わります。



使用方法

湯はりコール（湯はり量をブザーで確認）

4 湯量 **で湯はりコール（ブザー）の鳴る湯量を設定します。**

■湯量は次のように設定できます。
80～240リットル 9段階（20リットル刻み）

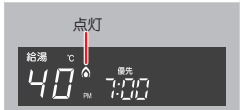
● 湯量 を押すたびに、20リットルきざみの9段階まで選べます。
一度設定すれば記憶します。

◆最後に 湯量 を押した後、約5秒後に湯量が確定し、現在時刻表示に戻ります。

［湯量 140 リットルの場合］

5 **浴室の給湯栓を開け、お湯を浴そうへ落し込みます。**

■ が点灯します。



6 **ブザーが鳴ったら浴室の給湯栓を閉めます。**

■設定湯量になると、お湯はり完了ブザー「ピーピーピー」でお知らせし、「湯はりコールランプ」が消灯します。

◆浴室リモコンと合わせてお使いの場合は、浴室リモコンからもブザーでお知らせします。

■ブザーが鳴ったら浴室の給湯栓を閉めます。

■設定湯量に給湯栓を閉めお湯がとまると、 が消灯します。

お知らせ

◆電源投入時または停電復帰後の湯はりコール温度は42℃、湯量140リットルになります。

◆湯はりコール運転中におふろ場の給湯栓を閉めると、運転は解除されブザー報知も解除されます。

◆湯はりコール運転中に湯はりコール（浴室リモコンは湯はりコール）を押すと、運転は解除されブザー報知も解除されます。（給湯栓を閉めるまで給湯運転は継続しますのでご注意ください）

◆湯はりコール運転使用後の給湯設定温度は、湯はりコール運転時に設定した温度に変わります。
給湯を使用する前に、給湯設定温度をお好みの温度に調節しご使用ください。

◆湯はりコール運転中に浴室以外の給湯栓を開けると、使用した分だけお湯はり量が減ります。

◆設定した湯はりコール湯量は、給湯栓からの給湯量です。湯水混合使用時は混合された水の量だけお湯はり量が増えます。

◆冬季など入水温度が低い場合は表示の温度より低いことがあります。

◆お湯はりをするときは浴そうの排水栓はしっかり閉めてください。

◆給湯栓が開いている状態で「湯はりコール」運転を開始することはできません。

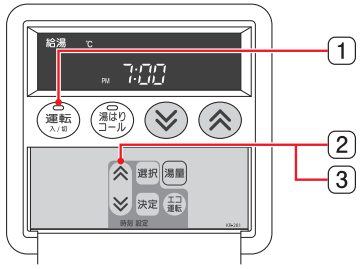
◆ 湯はりコール（浴室リモコンは湯はりコール）を押したリモコンに優先権が移動します。

◆湯はりコール運転は最大 1 時間です。水圧が低く、設定湯量が多い場合、設定湯量をお湯はりする前に湯はりコール運転が解除される場合があります。

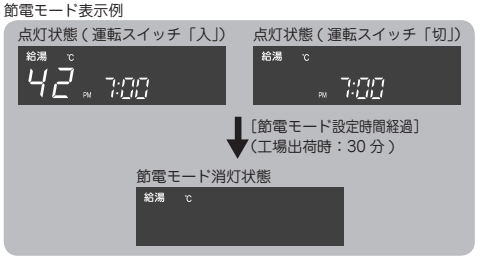
使用方法

表示画面のモードを切替える

○表示画面のモードを節電モード⇔常時点灯モードに切替えができます。
機器が運転中の場合は、切替えることができません。
（工場出荷時の設定は節電モードです。）



節電モード表示例



1 運転 入/切 **を押す。**

■運転ランプが点灯し、表示画面が点灯します。

2 **の上下を同時に約3秒間押す。**

■切替え音「ピッピッ」でお知らせします。
●節電モードから常時点灯モードに切替わります。
●表示画面が常時点灯します。

3 **もう一度節電モードにする場合は、 の上下を同時に約3秒間押す。**

■切替え音「ピッピッ」でお知らせします。
●常時点灯モードから節電モードに切替わります。
●表示画面が消灯します。

お知らせ

◆節電モードでは、設定した時間操作しないと画面表示が消灯します。
消灯中にお湯を使ったり、スイッチを押すと点灯します。（設定方法は 27 、 28 を参照してください。）

◆通常は、節電モードをおすすめします。

●浴室リモコンをお使いの場合は、浴室リモコンも同様の操作で表示モードを変更できます。

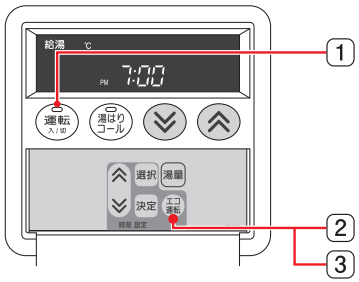
◆台所リモコン、浴室リモコン別々に設定できます。

◆節電モードでも給湯設定温度が60℃に設定されている場合、安全のため画面表示は消灯しません。

◆本操作は 27 、 28 の 設定切替えと同期します。（表示画面が消灯するまでの時間は 27 、 28 で確認、変更してください。）

エコ運転モードを設定する

○給湯量をひかえめにし、湯はりコール温度を最適にして節約します。



① 運転 入/切 を押す。

■「運転ランプ」「給湯設定温度」が点灯します。

② エコ 運転 を押し、表示部の エコ を点灯させます。

エコ運転をやめたいとき

③ 再度 エコ 運転 を押し、表示部の エコ を消灯させます。

お知らせ

- ●浴室リモコンをお使いの場合は、浴室リモコンも同様の操作でエコ運転モードを設定できます。
- ◆エコ運転設定中は、水栓やシャワー水栓で水を混合せずにお湯を使用してください。（設定した湯量での電子音お知らせや制限流量にすることができなくなる場合があります。）
- ◆お湯を使用中に、エコ運転設定を解除しないでください。（湯温が不安定になる場合があります。）
- ◆28 の H1、H2、F1 のいずれかの設定が on になっていないと エコ 表示は点滅します。

エコ運転制御他の個別設定方法

① 運転 入/切 を切る。

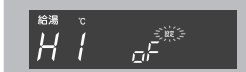
■運転ランプが消灯します。
■リモコン画面が時計表示のみになります。

② エコ 運転 を押すと、エコ運転の個別設定モードになります。

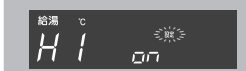
③ 選択 を押すたびに、表示部の表示記号が変わります。

H1 → H2 → F1 → c1 → c2 → PE → H1 ・・・ （表示記号は 28 を参照してください。）

■表示部に 設定 が点滅し、時計表示部に oF もしくは on が点灯します。



④ ▲▼ で、oF → on もしくは、on → oF に切替えます。

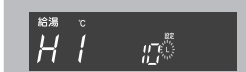


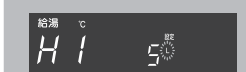
⑤ 決定 で 設定 が点灯に変わり確定します。

■表示記号が H1、H2、c1、c2 のとき on にすると、時計表示部に設定値が表示され末尾のアルファベット（L もしくは 分）が点滅します。（※）

▲▼ で、お好みの設定量、設定時間、表示設定に変更し、決定 で確定します。（※）

（L もしくは 分 が点灯に変わります）





⑥ 再度 エコ 運転 を押すと、個別設定を終了します。

※ 表示部に表示される設定値の詳細は、28 を参照してください。

使用方法

エコ運転モードを設定する

エコ運転機能には下記のような内容が用意されています。
必要に応じて、リモコンで設定をおこなってご使用ください。
（設定方法は 27 を参照してください。）

※ 工場出荷時は、H2 設定以外は、全て ON にて出荷しています。（※ H2 設定のみ OFF です。）

区分	エコ運転No.	項　目	内　　容	節水	節ガス	節電
給湯	H1	連続使用量お知らせ	給湯連続使用中、設定した湯量をご使用のたびに電子音でお知らせします。 ●10Lに設定した場合、連続10L使用時に電子音「ピッ」、さらに継続して10L（トータル20L）使用時に電子音「ピッピッ」など連続使用量を電子音でお知らせします。 ◆連続使用量お知らせ量の設定（設定方法は 27 を参照してください。） 5L ～ 50L［1L 刻み］ （工場出荷時設定値：10L）	（○）		
	H2	給湯出湯流量制限	リモコンで上限の給湯流量を設定し、給湯流量を制限します。 ◆給湯制限流量の設定（設定方法は 27 を参照してください。） 6L（L/ 分）～ 12L（L/ 分）［1L（L/ 分）刻み］で設定できます。 （工場出荷時設定値：6L（L/ 分）） ※ 2ヶ所以上の水栓でお湯を使用すると、1つの水栓で使用できるお湯の量はさらに少なくなります。	○		
湯はり	F1	外気温度連動湯はり	前回以前の湯はりコール時の外気温を学習し、当日の湯はりコール温度を補正します。 ●外気温度が高い場合は湯はりコール温度を低くします。 （設定温度－2℃まで）　※リモコン表示温度も変更されます。 外気温度が低い場合は設定温度が湯はりコール温度になります。 ※ 安全のため、43℃以上の設定にはなりません。 例：外気温度が高いときに湯はりコール温度が 42℃だった場合、外気温度が低下しても 43℃以上の湯はりコール温度になりません。		○	

※ 湯はりコール運転時は、H1（連続使用量お知らせ）と H2（給湯出湯流量制限）は動作しません。

その他の設定項目として、下記内容の設定ができます。

区分	No.	項　目	内　　容	節水	節ガス	節電
その他	c1	省エネ表示	リモコンの表示画面を自動で消灯するまでの無操作時間を設定します。 ※台所リモコン、浴室リモコン別々に設定可能です。 ◆LED消灯時間の設定（設定方法は 27 を参照してください。） 10分 ～ 30分［1分刻みで］で設定できます。 （工場出荷時設定：on 30分）			○
	c2	湯はりコール中時計表示	湯はりコール運転中、時計表示部に表示する項目を選択します。 oF：時計表示（工場出荷時設定） on → 1：湯はり量 カウントダウン ●ブザーが鳴るまでの湯はり量を表示します。 on → 2：湯はり時間 カウントダウン ●ブザーが鳴るまでのおおよその時間を分単位で表示します。 ※流量変動等により実際の時間と差が出る場合があります。		（○）	
	PE	個別設定の初期化	27 の 3 で PE を選択し、4 で on にして 決定 を押すと、『ピッピッピッ』と鳴り、上記 H1 ～ c2 の全ての設定を工場出荷時の状態に戻します。			

※ c1（省エネ表示）と c2（湯はりコール中時計表示）は、26 の エコ運転 と関係なく、本設定で機能します。

このようなときは

凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）

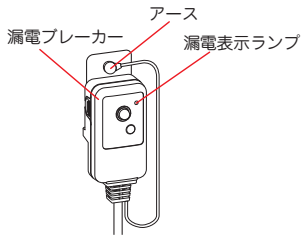
○冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結がおこることがあります。
次のいずれかの方法で予防処置をとってください。

1．通常の寒さのときの予防方法

凍結予防ヒーターによる方法

漏電ブレーカーを抜かない

◆抜けていると凍結予防ヒーターが作動しません。
◆漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯している場合は凍結予防ヒーターが作動しません。
漏電している可能性もありますのでリセットボタンを押して確認してください。 32



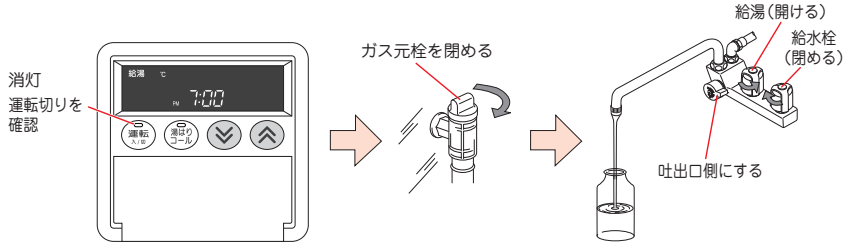
お知らせ

◆この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが組込まれています。通常は、漏電ブレーカーをコンセントに入れた状態にしておけば機器内の凍結は予防できます。
◆凍結予防ヒーターは、リモコンのスイッチ操作に関係なく働きます。
◆ヒーターで凍結を予防できる気温の条件は、無風時－15℃まで、有風（4m／秒）時－10℃までです。気温がこれ以下になる時は、通水による方法や水抜き処置によって、凍結予防をしてください。
◆ヒーターは、機器内の保温はしますが、配管やバルブ類の凍結予防はできません。
◆この機器は外気温が－15℃以下になる場合には、凍結予防のために水抜き処置が必要です。 30

2．冷え込みの厳しいときの予防方法

通水による方法

1 リモコンが運転「切」（運転ランプ消灯）になっていることを確認する。
2 ガス元栓を閉める。
3 おふろ場の給湯栓を開けて、1分間に400cc（牛乳びん2本分）ぐらいの水を浴そうに流し込む。
◆流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。



このようなときは

凍結のおそれがあるとき（凍結予防方法）

※ これらの処置をしても凍結するおそれがある場合は、水抜き 30 ［長期間お湯を使用しないとき］を行ってください。

お知らせ

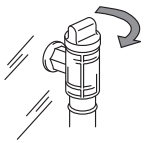
- ◆凍結により、給湯栓・シャワー栓から水が出ないときは、使用しないでください。
- ◆凍結したままで使用しますと、機器に異常が生じ危険です。
- ◆再度使用する場合は、ガス元栓、給湯・シャワー栓を閉め、解凍するのを待ちます。解凍して、通水したあと、本体や配管から水漏れがないことを確かめてからご使用ください。
- ◆凍結により、機器が破損した場合、高額の修理費用がかかります。（保証期間内でも有料）
- ◆万一、機器や配管から水漏れするなどの異常がある場合は、ガス元栓、給水元栓を閉め、浴そうの排水栓を抜いてから、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

このようなときは

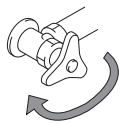
長期間お湯を使用しないとき

○長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

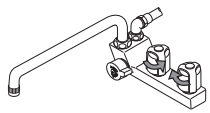
1 ガス元栓を閉じる。



2 給水元栓を閉じる。



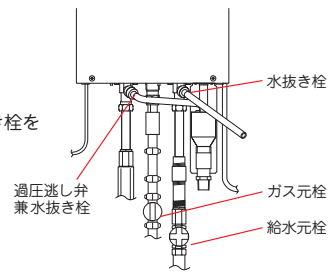
3 給水栓、給湯栓を開ける。



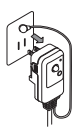
4 過圧逃し弁兼水抜き栓をゆるめる。

5 給水継手水抜き栓をゆるめて水を抜く。

※水抜き栓から出る水は、洗面器などでうけてください。
配管内の水が抜けたら、水抜き栓、過圧逃し弁兼水抜き栓を元通りにし、すべての給湯栓を閉じてください。



6 漏電ブレーカーをコンセントから抜く。



※給水及び給湯配管に水抜き栓がない場合は電源プラグをコンセントから抜いたり、配電盤のブレーカーを「切」にしたりしないでください。

● 再使用については「初めてお使いいただくときは」18 にしたがってください。

必要なときに

点検・お手入れ

⚠ 注 意

■ お手入れの前には、ガス元栓・給水元栓を閉め、機器が冷えてから行う
● 機器使用中および使用終了直後は、排気口や機器本体が高温になっていますので、やけどするおそれがあります。

高温注意

■ 機器やリモコンは、絶対に分解しない
● 火災、ガス漏れ、感電、水漏れ、故障の原因になります。

分解禁止

点検のポイント

- ● 機器の上やまわりに燃えやすいものがありませんか。4
- ● 給気口・排気口が布やビニールなどでふさがっていませんか。4
- ● 機器や配管から水漏れしているような様子はありませんか。
- ● ガスのにおいはしませんか。3 ガス漏れに気づいたとき
- ● 運転中に機器から異常音が聞こえませんか。5
- ● 機器の外観に異常は見られませんか。
- ● 漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。32 漏電ブレーカーの点検

お 願 い

機器外観やリモコンのお掃除をされる時は、布またはスポンジに中性洗剤をつけて拭きとったあと、からぶきします。
※手袋をすることをおすすめします。

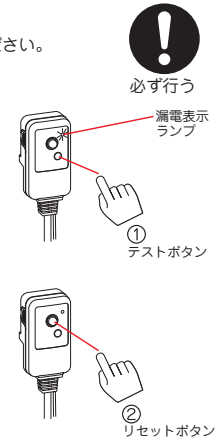
- ◆ミガキ粉やタワシなど固いものでこすらないでください。傷がついて、塗装がはがれたり腐食の原因になります。
- ◆シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。前カバー、リモコン等は変色、変形、塗装のはがれのおそれがあります。
- ◆リモコンケースには故意に湯水や洗剤をかけないでください。リモコンの故障の原因になります。
- ◆浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。湯あかが残っていると、銅イオンと化合して青く変色することがあります。

必要なときに　点検・お手入れ

■漏電ブレーカーの点検

● 漏電ブレーカーが正しく作動することを確かめるため、次の操作を行ってください。
　① テストボタンを押します。　→漏電表示ランプが点灯します。
　② リセットボタンを押します。→漏電表示ランプが消灯します。
● 月に１回以上の作動確認を行ってください。

※ 正しく作動しないときは、機器の使用を止め、漏電ブレーカーを抜いて、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
※ 点検の前に漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを押してください。
再び漏電表示ランプが点灯するようでしたら漏電ブレーカーを抜き、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
※ 作動確認後は設定していた温度、湯量、現在時刻、湯はりコール設定温度などが工場出荷時の設定になります。
・給湯温度　42℃　　・湯はりコール湯量　140L
・現在時刻　－：－－　　・湯はりコール温度　42℃



必要なときに　「あんしん点検」のおすすめ

本製品は、ご使用開始から１０年前後をめどに「あんしん点検」（有料･任意点検）をお受けいただくことをおすすめいたします。

あんしん点検について

【点検の内容について】
・あんしん点検は、お客さまの任意で受けていただく有料の点検です。
（法定点検ではありません）
・あんしん点検は、点検時点での製品の安全を確認するためのもので、製品の延命や性能の保証を延長するものではありません
・点検の実施は、大阪ガスまたは大阪ガスが委託した事業者が行います。
・点検の内容および点検基準は、「経済産業省関係特定保守製品に関する省令」に定められた法定点検の内容、基準を参考に、当社で設定しています。
（例：製品の設置状況の確認、作動確認、内部の漏れ、詰まり、変色、性能確認など）
・点検の結果は、「点検作業票」にてお知らせします。点検の結果、何らかの整備（修理・部品の交換など）が必要な場合には、整備内容についてご提案させていただき、お客さまにご了解をいただいた上で行います。

【点検料金および点検の依頼先について】
・点検は有料で実施させていただきます。また点検の結果、整備を実施する場合は、別途整備費が発生いたします。
なお、あんしん点検の内容や料金などにつきましては、下記のアドレスからご覧いただけます。
http://www.osakagas.co.jp/
インターネットでご確認できない場合は、41ページに記載の「大阪ガスのお問い合わせ先」にご連絡ください。

【点検を依頼されるとき】
・点検のお申し込みは販売店または、もよりの大阪ガスへご依頼ください。

点検の時期について

本製品は、設計上の標準使用期間※を１０年と算定しておりますので、ご使用開始から１０年前後をめどに「あんしん点検」をお受けいただくことをおすすめいたします。

※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間になります。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください（無料修理保証期間は保証書を参照願います）。

故障かな？

修理を依頼される前に

次のことをお調べください

現　　象	お調べいただきたいこと
リモコンのスイッチを押しても表示ランプが点灯しない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 ●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。32 ●停電していませんか。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●断水ではありませんか。 ●リモコンの「運転」スイッチを押しましたか。 ●凍結していませんか。30
あついお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が低くなっていませんか。 ●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給湯またはシャワーを２ヶ所で同時使用されていませんか。
ぬるいお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が高くなっていませんか。 ●水量を絞りすぎていませんか。(夏) ●給水元栓が全開になっていますか。
設定した温度、時刻などが記憶されていない	●停電が起きていませんか。 ※約１秒以上の停電が発生した場合、設定していた温度、時刻、湯量等が初期値になります。32
給湯栓から出るお湯の量が少ない	●エコ運転を設定していませんか。26 ～ 28 ●２ヶ所以上の水栓でお湯を使用していませんか。21 ●給水元栓が全開になっていますか。

次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理　　由
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	機器から給湯栓までは距離がありますのでお湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
運転スイッチが切れる。	給湯又はシャワーを連続１時間以上使用しますと、消し忘れ防止のため運転スイッチを切りにし、燃焼を停止します。
お湯の出を止めてもしばらく音がする。	消火後約10分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。
寒い日に排気口から白い湯気が出る。	寒さで排気の中の水蒸気が白く見える現象で異常ではありません。
高温出湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって現われるためのものです。異常ではありません。
給湯栓を絞りすぎて水(熱い湯)になった。	給湯栓、シャワー栓を絞りすぎる（約 2L/ 分以下）と消火します。 また、熱いお湯が出たり、消火したり、を繰り返すことがあります。
ぬるいお湯が出ない。	夏期水温が 30℃近くなりますと、給湯設定温度を低温にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、専用混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。
中和器ドレンホース近くの床が白くなる。	この機器は高効率のため、給湯使用中にドレン水が出ます。ドレン水に中和剤成分のカルシウムが溶けだし、床が白くなることがありますが、器具の異常ではありません。
運転スイッチを「入」「切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくするとモータが動く音（クックッ、クー）がする。	お湯を使用するときに、お湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音で、異常ではありません。

故障かな？

エラー表示がでたら

エラーコードの表示をお調べください

表示	故障と思われる範囲または原因	処　置
111 121	給湯不着火 給湯使用時、途中消火（失火）	ガス元栓の全開を確認し、運転スイッチを切りエラーコードの点滅を解除します。再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは修理依頼してください。
140	残火安全装置作動 過熱防止装置作動	安全装置の作動または故障が考えられます。 給湯・湯はりが使用できなくなりますので、修理依頼をしてください。
141	出湯温異常	供給ガス圧の低下や、熱交換器のつまり等の故障が考えられます。このエラーが表示された場合は約５分間お湯を使用することができません。たびたびエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
291	中和器・ドレン経路づまり	中和器ドレン経路のつまりが考えられます。 エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。 それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。 なお、冬季は凍結により 291 を表示する場合がありますので、溶けるのを待つか、修理依頼をしてください。
101 991	ファンほこりづまり	十分な給湯能力が出ない、または給湯･自動が使用できない状態ですので、修理依頼してください。
921 931	中和器交換警告	中和器の交換時期が近づくと 921 を表示し、しばらくすると 931 となり機器が使用できなくなります。中和器の交換が必要ですので、修理依頼してください。

⚠ エラーコードが点滅しているときは

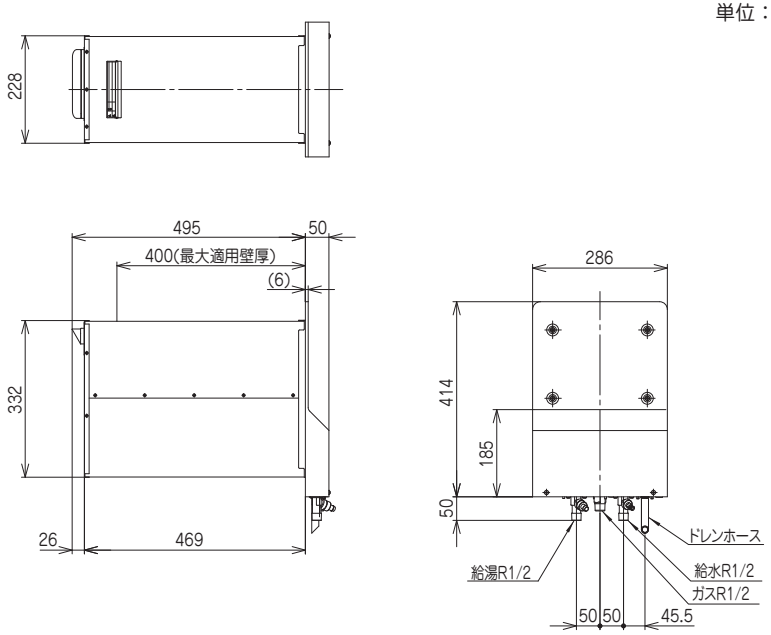
●この機器は機器の故障または異常を検知すると、リモコンの時計表示部にエラーコードを点滅表示します。（上表で確認してください。）
●エラーコードの点滅解除は、(運転 入/切) を押します。
●機器を再運転しても表中のエラーコードが何度も表示される場合や、表中以外のエラーコードが表示される場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
●使用途中でリモコンのランプが点灯しなくなった場合、漏電ブレーカーの作動が考えられますので、32 の要領で漏電ブレーカーの作動確認をしてください。

その他

寸　法　図

■本　体　（この図は、133-K430 型です。）

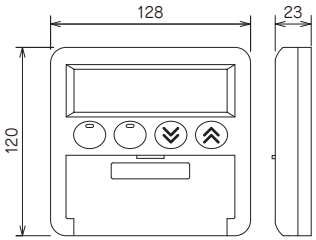
単位：mm



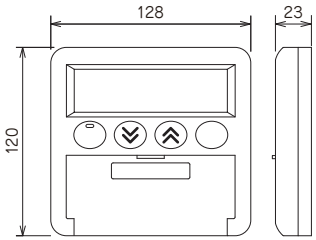
■リモコン

単位：mm

台所リモコン（別売部品）［138-K032］



浴室リモコン（別売部品）［138-K033］



仕　　様

■ 133-K430, 133-K432 仕様表

項　目		仕　様	
外形寸法（本体）		幅 286 ×高さ 464 ×奥行 545mm	
		幅 286 ×高さ 464 ×奥行 520mm	※1
壁貫通部寸法		幅 228 ×高さ 332 ×奥行 495mm	
		幅 228 ×高さ 332 ×奥行 470mm	※1
質量（本体）		21 kg	
		21 kg	※1
接続寸法	ガス	R1/2（TU 接続）	
	給水・給湯	R1/2	
標準ガス消費量 kW	ガス種	13A	LPG
	給湯 最大	30.0（25,800kcal/h）	30.0（2.16kg/h）
	給湯 最小	5.0（ 4,300kcal/h）	5.0（0.36kg/h）
電気定格	電源	AC100V（50 / 60Hz）	
	消費電力	使用最大：55 W	
	凍結予防ヒーター	80 W	
最低作動水圧		19.6 kPa（0.2kgf/cm^2）	
使用水圧		53.9（動水圧）～ 784kPa（0.55 ～ 8kgf/cm^2）	
制御システム	給湯	フィードフォワード＋フィードバック式ガス比例制御	
	ファン制御	DC ファンによる回転数制御	
排気温度		100℃以下	
安全装置		・立消え安全装置　・過熱防止装置　・ファン回転検知 ・沸騰防止装置　・漏電ブレーカー　・過圧逃し弁 ・残火安全装置　・凍結予防用ヒーター	

※1 は 133-K432 の寸法、質量です。

■ 出湯能力　　＊印は換算相当出湯能力を示す。

ガス種	標準号数（号）		温度上昇と標準出湯量（ﾘｯﾄﾙ／分）				
			水温 +15℃	水温 +25℃	水温 +30℃	水温 +40℃	水温 +50℃
13A，LPG	能力大	16	＊ 26.7	16.0	13.3	10.0	8.0
	能力小	2.5	4.1	2.5	－	－	－

上記数値は計算値です。

アフターサービスについて

アフターサービスのお申し込み

サービス（点検・修理）を依頼される前に
「修理を依頼される前に」34 、35 を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

●ご連絡の際には次のことをお知らせください。
1．品　名・・・・・・・・ガス給湯器パックイン
2．大阪ガス商品コード・・・器具の前面上部に貼付してあります
3．故障、異常の現象、エラーコード・・・できるだけ詳しく
4．お客さま名、住所、電話番号、道順

例）
（N）133-K430
大阪ガス株式会社

転居される場合

●転居される場合には、転居先のガスの種類や設置条件を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
（ガスの種類や設置条件によっては設置できない場合があります。）

保証・補修について

●保証期間中の故障修理について
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書（保証書付）を大切に保管してください。
●保証期間経過後の故障修理について
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客さまの要望により有料修理いたします。
この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後 10 年間です。
ただし、当製品製造打切後 10 年経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

定期点検のおすすめ（有料）

●ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心して長くご使用いただくために、年 1 回程度の定期点検をおすすめします。
なお、給水用具（逆流防止装置）については、（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は 4 ～ 6 年に 1 回程度の点検をおすすめします。
点検はお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。